



郡上カンパニー

根っこのある生きかたを、つくる。

PROJECT 03

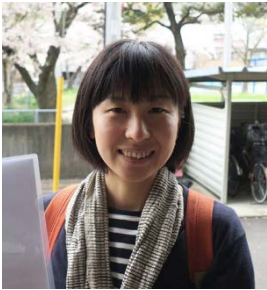
郡上の自然の恵みで「衣」を生み出す

PROJECT PARTNER

平野 馨生里

平野馨生里(かおりん)

似顔絵・写真



キャッチコピー・座右の銘

弱さの強さ
走りながら考える
やってみなきゃわかんない
今日一日に感謝して

フランクな自己紹介

1981年8月生まれ、36歳、男児3人(4・2・0歳)の母・石徹白洋品店店主です。
学生時代はテニスに明け暮れるとともに、カンボジアに毎年通ってフィールドワーク。心の師匠；森本喜久男さんに出会い、今の私のベースとなっています。やると決めたら、やらないと気が済まないもので、頭に浮かんだことは、だいたい実践してきました。石徹白が大好きで、石徹白洋品店を通して、石徹白の素晴らしさを発信するとともに、石徹白で仕事作りをし、ここで暮らし続けていく基盤を創っていきたくと思っています。
同時に、郡上の仲間と、郡上らしい地に根ざした誇りの持てる仕事を作りたいと郡上手しごと会議を立ち上げ、ぼちぼち進めています。

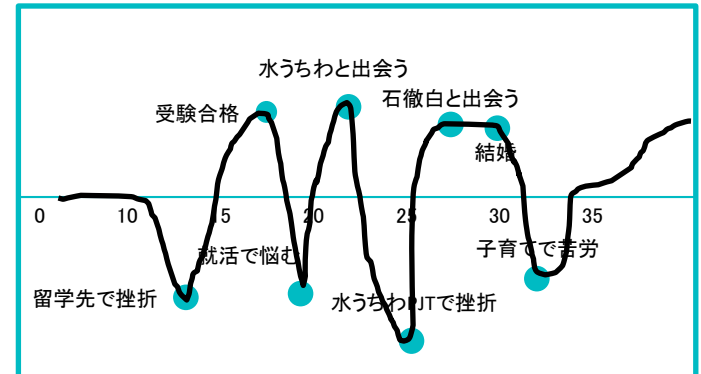
プロフィール文

1981年8月岐阜市生まれ。日本的な祖母の影響を受けて育つ。高校2年生のときに米国に1年間滞在し海外へ目を向ける。国際協力に興味を持ち、慶應大学総合政策学部に進学。カンボジアへ毎年通い、内戦で失われた伝統織物を復刻するクメール伝統織物研究所にて研究を進める。織手のおばあちゃんが「織物は私そのもの」という言葉に、自身のアイデンティティとは何か考えるようになり、故郷に目を向けるように。大学3年生のとき、岐阜の伝統工芸品「水うちわ」復活プロジェクトを職人と仲間と共に立ち上げる。ものづくりの原料生産現場となる中山間地・郡上に通ううち、過疎化や第1次産業の危機を感じる。衣食住エネルギーは最低限地域内で賄う必要があると感じ、2007、石徹白に出会いエネルギー事業を立ち上げる。2011石徹白に移住。2012石徹白洋品店を立ち上げ、地域に残る野良着「たつけ」を復刻・商品化し地域文化継承と雇用創出を目指し活動中。

自分ヒストリー

昔	■ 幼少～小学生	茶道を祖母に小2から習い、日本の伝統的な行事など重んじる家庭で育つ。
	■ 中高生の頃	部活(テニス)に明け暮れる。ここでかなり体力が鍛えられた。交換留学で米国へ。英語が拙いことやホストファミリーと大げんかをして家を飛び出すなど挫折の連続。精神的に鍛えられる。
	■ 大学生の頃	カンボジアにフィールドワークへ。大雨のたびに沈むゲストハウスや、泥水の湖で泳ぐなど研究以外の様々な経験を積む。カンボジアの人々が伝統織物に誇りを抱いてもものづくりに携わっているのを目の当たりにし、自身の生まれ育った岐阜を省みるきっかけをもらう。
	■ 大学4年～ ■ 2007	水うちわ復活PJTに参加し、ものづくりの原料生産地、中山間地に通うようになる。石徹白に出会い、石徹白の人々に惚れ込む。地域の人と共に小水力発電導入事業を立ち上げる。
	■ 2011～2012	石徹白に移住。石徹白洋品店を立ち上げる。第1子誕生。核家族での子育ての大変さを実感。
今	■ 2015冬	郡上・手しごと会議を立ち上げ、子連れで仲間と手しごとする喜びを知る。

人生グラフ:横軸は年齢・縦軸はイキイキ度(幸せ度)。
人生で輝いていた時、沈んでいた時を見える化しましょう!



みんなが知らない自慢・芸・得意技

テニスが大好きで得意だけど、もう何年もラケット握ってない。。。
お酒が好きだけど、妊娠・出産・授乳続きでしばらく口にしてません！涙

ひらのかおり

PJPシート プロジェクト編①

平野馨生里(かおりん)

個人的背景

石徹白洋品店を始めた直後、第1子を出産。子育て中、一人では子育てもものづくりも大変で疲弊していたところ、地域の方に助けもらった。皆で助け合って、地域の中にある自然資源を生かした仕事を生み出すことで、自分自身も、家からなかなか出られない(子育てや介護のため)人々も生き生きと暮らせることを実感。洋品店では草木染めを行っていたので、それを中心としたものづくりを郡上のみんなとできないかと模索を始めた。

課題・ビジネスチャンス

<課題と現状>郡上には「衣食住」に必要なものを作るための「土」や「水」がふんだんにある。そして、地域に住む人々は手しごとが得意で器用な人が多い。私たちの手から遠く離れてしまった「衣」を少しだけでも、自分たちの手に取り戻したい、と棉花の栽培や草木染めに興味を持ってやり始めた仲間がいる。
<ビジネスチャンス>藍染、草木染めへの興味関心が高まっている。背景の分かる「衣」を手に入れたいと思う消費者が増えている。

プロジェクト概要

郡上の自然の恵みで「衣」を生み出す
あたたかくて小さなたくさんの「手しごと」づくり

- 1、郡上手しごと会議のメンバー(郡上市在住の手しごと好きな人々)と共に、地域の自然を活用した草木染め、自分で育てた綿花や蚕からの糸を使った手織り布などの商品を企画する
- 2、メンバーと共に、どのような役割分担や、場づくりによって商品づくりを行うか考える
- 3、商品づくりを行う(畑で染め材を栽培・山などで採取→染める など)
- 4、販売戦略を立てる(ターゲット、販売ルートなど。)パッケージデザインなど行う
- 5、販売し、メンバーに利益を還元する
- 6、活動に参加したいメンバーを増やしていく



あなたは、郡上のどんな①人・コミュニティ②自然③文化に根ざしていて、このPJはそれぞれにどんな価値を還元できると思いますか？

	①人・コミュニティ	②自然	③文化
あなたが根ざしているもの	郡上手しごと会議の手しごとが好きな仲間たち	身の回りにある郡上の自然(畑から生み出す棉花や藍、紅花。周辺にある草木花)	山間地で雪深い郡上だからこそ、手しごとを厭わない気風がある。郡上紬や郡上本染めなどの伝統文化をつないできた人々がいる
プロジェクトがそれぞれに対して還元できる価値	郡上での暮らしがより充実したものになる 経済的な助けとなる小さな仕事を生み出す	身の回りの自然が暮らしの糧になることを多くの人が認識することで、山や放棄地の整備や手入れが進む可能性があり、美しい景観が保たれる	手しごとをする文化を継承する。郡上つむちや郡上本染めを実践してきたいと人の志を知り、受け継いでいきたい。

3年間のロードマップと3年後にどうなってほしいか

1年目 ↓	商品開発・試験販売期	やること	<ul style="list-style-type: none"> 商品ラインナップを決める 畑仕事や染め現場での経験を積む 活動がわかるようなサイトを作る 	<ul style="list-style-type: none"> イベント出店で商品を販売してみる 八幡の家・店舗を整える ロゴ・ラベル・ラッピングなどを作る 	<ul style="list-style-type: none"> メンバーの理想的な3年後を考えるワークショップを行う 生産工程や役割分担などを決める
2年目 ↓	商品生産・地域内販売期	やること	<ul style="list-style-type: none"> 商品づくりを行う 生産・販売計画を立てる 八幡にて販売を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 新商品ラインナップを決める 	
3年目 ↓	地域外販売等拡散期	やること	<ul style="list-style-type: none"> 商品づくりを行う 生産・販売計画を立てる 八幡にて販売を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 地域外でのイベントに出店する オンラインショップを立ち上げる 	
3年後の理想状態					
<p>定番商品が3~5種類くらいでき、VPの人件費が賄える状況になっている</p> <p>手しごとと会議メンバーの3~5人が、自分の望む時間で望むしごとができ、納得する報酬が得られる状況になっている</p> <p>八幡のお店が地域内の人に愛される商品を提供できる場となっている</p>					

どんな人来てほしいか？スキル/マインド/実績など

募集メッセージ(プロジェクトのわくわく感)

PJPの関わり方

<p>自然の恵みを受け、楽しく汗を流しながら商品開発・販売をしたい人。</p> <p>仲間の能力を引き出しながらものづくりをしたい人。</p> <p>プロダクトデザインや、広報、イベント企画などの経験がある人。</p> <p>生産現場から販売まで幅広い視野で事業を見つ、実践していける人。</p>	<p>自然も文化も、そして人も豊かな郡上で、その風土に溶け込みながら笑顔のたえない仲間と共に、ものを作り、販売していきたいと思う人を募集します。</p> <p>皆で畑で汗を流し、美味しいご飯をいただき、綺麗な空気と水に癒され、自然からの恵みでものづくりをする。そんな豊かな暮らしを実現したいと思います。</p>	<p>A. 私自身がフルコミットして一緒に取り組みます。</p> <p>B. 私が今取り組んでる事業を基盤に、新しい事業と一緒につくります。</p> <p>C. 私にとっても未知の分野、新しいチャレンジです。</p>
--	---	--

暮らしのイメージとサポート

<p>プロジェクトの対象地域</p> <p>石徹白・郡上八幡</p> <p>その地域での暮らしはどんなものですか？(※移住者の居住地がこの地域になるとは限りません)</p> <p>石徹白: 夏は避暑地・冬は豪雪地です。地域の人々の絆が強く、安心して暮らせるコミュニティです。</p> <p>子育て世代の移住が増えており、多種多様な活動がみられます</p> <p>郡上八幡: 街中は郡上踊りが有名で多くの人々が訪れる魅力ある街です。移住者や新たなお店も増え、活気があります。</p>	<p>あなたはプロジェクトに応募する人の暮らしにどんなサポートできますか？</p> <p>石徹白: 私も移住者なので地域の人々と楽しく充実した暮らしをするためのお話や、冬の過ごし方についてアドバイスできます</p> <p>郡上八幡: 八幡で活動されている様々な方達をご紹介します</p>
--	---